研究会に行こう！

「研究会に行こう！」では基礎・境界ソサイエティの研究会などの様子を御紹介しています．情報交換や懇親，新たな研究との出会いの場としてはいかがですか？

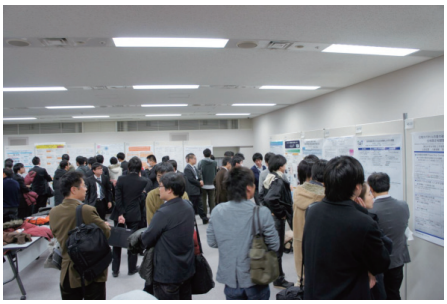
■信号処理シンポジウム


特別講演の様子

信号処理は今日では工学にとどまらず，経済学，医学，考古学，地球物理学など様々な分野で必要不可欠な基礎技術となっています．社会基盤のICT化が進むにつれて，その重要性と期待は増加し，信号処理の分野はますます大きな広がりを見せています．毎年，秋に開催される信号処理シンポジウムは，日本における信号処理に関する最大規模の会合であり，この分野の研究動向を知る上で重要な研究討論の場となっています．2011年は，第26回信号処理シンポジウムを，電子情報通信学会信号処理研究専門委員会の主催にて，11月16日から18日まで，北海道札幌市の札幌コンベンションセンターで開催しました．

本シンポジウムは，講演の主題を，基礎信号処理，フィルタ，フィルタバンク，多次元信号処理，適応信号処理，知能信号処理，音声・音響信号処理，画像・映像処理，生体信号処理，非線形信号処理，信号プロセッサ，信号処理システム実現技術，信号処理の応用等と設定し，オーラル24セッション，ポスター1セッション，特別講演2件を企画しました．本年度は，震災の影響も受け，講演者及び参加者の大幅減も覚悟しましたが，参加者総数は180名を超え，122件の一般講演のほか，特別講演2件の発表を含む大規模なシンポジウムの開催となりました．

シンポジウムは16日午後から開催され，三つのパラレルセッションによる計9個のセッションで多くの発表が行われました．また，レセプションを札幌コンベンションセンター内レストランSORAにて開催しました．17日には，NECの杉山明彦氏によるIEEE Fellow記念講演「オーディオ符号化とその応用～これまでの25年と今後の展望～」，更には，NHKの松本睦雄氏による特別講演「東日本大震災発生時，NHKは何を伝えたのか～放送技術を活用した震災報道～」が行われ，大変有意義なお話を聴くことができました．また，6個のオーラルセッションと1個のポスターセッションが行われ，各会場とも，活発な議論が行われました．特に，ポスターセッションでは，学生や若い研究者の発表に対して活発な研究討論が行われました．また，バンケットは17日夕方，サッポロファクトリービアケラー札幌開拓史で行われました．18日には，9件のオーラルセッションが行われ，最終日にもかかわらず，夕刻最後のセッションまで非常に活発な研究発表と討論が行われました．


ポスターセッションの様子

なお，本シンポジウムでは新たに，SIP学生奨励賞を設立し，筆頭著者として論文を発表した学生の中から，選抜して10名に賞を贈呈しています※1．本賞を受賞した学生には，受賞論文名が記載された賞状並びに副賞（ICASSP登録費及びチュートリアル講演受講料）が次年度のSIPシンポジウムで授与されます．

次年度は，2012年11月28日～30日，沖縄県石垣市の石垣ANAホテルで開催されます．

※1　http://www.ieice.org/~sip/#tabview=tab6



長谷山美紀（正員）

1986北大・工・電子卒．1988同大学院工学研究科修士課程了．1989同大学電子科学研究科助手．1994同大学院工学研究科助教授．2006同大学院情報科学研究科教授，現在に至る．画像・映像及び音響信号などマルチメディア信号処理の研究に従事．博士（工学）．情報処理学会，映像情報メディア学会，IEEE，信号処理学会各会員．第26回信号処理シンポジウム実行委員長．



小川貴弘（正員）

2003北大・工・情報卒，2005同大学院情報科学研究科修士課程了．2007同大学院情報科学研究科博士後期課程了．2008同大学院情報科学研究科助教，現在に至る．画像復元及び映像処理に関する研究に従事．博士（情報科学）．第26回信号処理シンポジウム幹事．



田中　章（正員）

1994北大・工・情報卒．1996同大学院工学研究科情報工学専攻修士課程了．同年，松下通信工業（株）入社．2000北大大学院工学研究科システム情報工学専攻博士課程了．同年，同大学院工学研究科助手．2004同大学院情報科学研究科助手．2007同大学院情報科学研究科助教．2011同大学院情報科学研究科准教授，現在に至る．画像・音響信号処理，機械学習に関する研究に従事．博士（工学）．IEEE，米国音響学会，日本音響学会各会員．第26回信号処理シンポジウム幹事．